

令和7年度

小・中学生フォーラム in 落合第二中学校



新宿区では毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子どもたちが新宿のまちに関心と愛着を持ち、将来、区政に積極的に参画する大人へ成長するきっかけとなることを目指しています。

7月3日（木）、落合第二中学校（西落合1丁目6-5、大川 直樹校長）の3年A組37名、B組37名、C組38名が、「新宿区における外国籍住民との友好的な共生を実現するためには」をテーマに、吉住健一区長と意見交換を行いました。

実際に修学旅行で留学生と交流した経験を活かした上記のテーマを設定した上で、生徒たちは、どうしたら多文化共生が実現されるかについて、各グループの代表が発表した後で、パネルディスカッションを行いました。生徒たちからは、料理教室やスポーツ交流を通して外国籍の方と関わることで相互理解を深めていく、という提案があり、実施にあたり必要な事項について、さらに議論を深めていました。

区長からは、国際交流にあたって、私たちがお互いに守らなければならないマナーや考え方について、自分も相手もお互いの身になって考え、国際社会の中で、私たちがどうあるべきかを考えてほしいと生徒たちに伝えました。

生徒たちは、多文化共生の実現のために自分ができることを考え、時折、議論が白熱した雰囲気を感じ、自分の意見を持って、しっかりと発言をしていました。修学旅行という経験を通じて、身近なところから多文化共生の実現はできると気づくきっかけとなる、有意義なフォーラムとなりました。

